

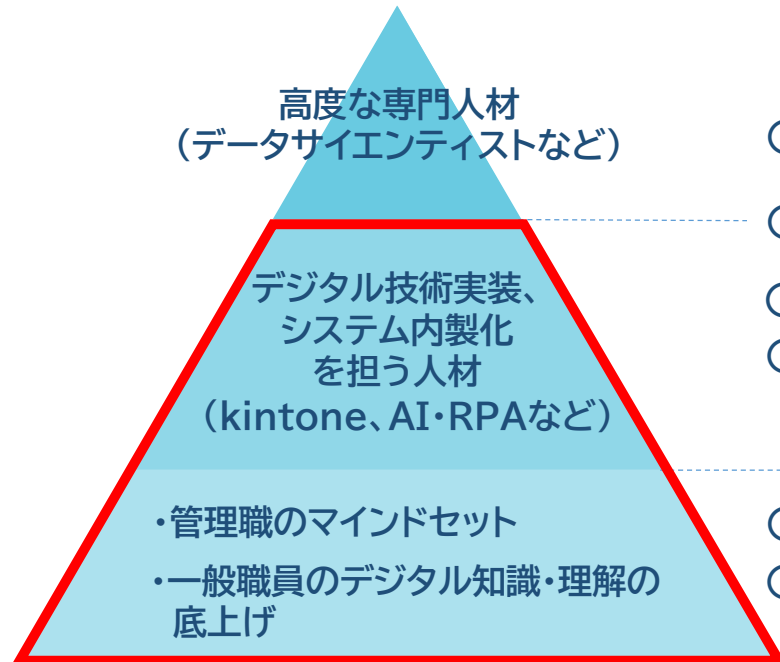
○「北九州市DX推進計画」に集中取組項目の一つとして「デジタル人材の確保・育成」を設定

集中取組項目(各論9)「デジタル人材の確保・育成」

(取組内容)全職員を対象とした育成方針の策定

情報部門(デジタル市役所推進室など)の職員を対象とする「北九州市情報職員人材育成」を改訂し、全ての職員を対象に、職位に応じた目指すべき職員像や、行動指針、育成の考え方、研修の体系などを整理し、**全庁的なデジタル人材育成を計画的に進める。**

デジタル人材育成の考え方



○外部(民間)人材の活用

○デジタル枠職員の採用

○民間企業の知見活用(研修・実装支援など)

○適性のある職員の計画的育成
(DXリーダー・推進員研修 など)

○管理職向け研修

○職員研修所と連携した階層別研修
(新採、年次研修、新任課長・係長など)

サイボウズ株式会社との連携協定（令和3年9月16日）

【協定の内容】

- 1 デジタル技術を活用した全庁的な業務改革及びデータ利活用の推進
- 2 職員の働き方改革の推進
- 3 デジタル人材の育成及び人材交流
- 4 本取組によって得た成果の庁内、市内及び他の行政機関等への発信

【協定に基づく主な取組】



○ローコードツール「kintone」による業務のDX内製化（令和3年度下半期～）

サイボウズ社の「kintone」を導入し、各職場で業務の内容を熟知している**職員が自ら、主体的に業務改善のためのシステムを作成できる、「内製化」**に取り組む

プログラミング不要の
ローコードツール導入

職員自らが短時間で
業務システムを作成できる

業務効率化
職員の負担軽減

- 1) 職員向けのハンズオン（実際に操作しながら行う）研修・課題解決型ワークショップの開催、自治体間でのアプリの共有
- 2) 市内パートナー企業とともに、伴走型でのシステム開発
→まずは、デジタル市役所推進室で集中的に開発し、成功事例を創出・全庁に拡大



R3.12.20 ハンズオン研修

管理職のテレワークに対する理解促進と、実施しやすい職場環境づくり、令和3年9月末に導入したモバイル端末1,500台の徹底活用のため、**全ての管理職（課長以上）を対象にテレワークにトライアルする研修を実施**（R3.11～12）※期間中に最低1日実施

取組の目的・内容

（1）モバイル端末の使い方を理解し、自席のイントラパソコンと同様の業務ができることを認識

- 指紋認証・顔認証でログイン
- メール・回覧レポートの閲覧
- 共有フォルダの利用
- 電子決裁の実施 など

（2）コミュニケーションツールの使い方を理解し、職場と離れた場所でもスムーズな情報共有ができることを認識

- ChatLuckによる職場との連絡・報告

（3）どのようにすればテレワークが定着するか検討

- テレワークを実施し、良かった点・悪かった点の把握
- 各部署の特性等を踏まえ、テレワークに馴染む業務と馴染まない業務の整理
- テレワーク定着にむけた課題・改善点の抽出

R3.12までに
約500人（7割以上）の
管理職が実施



参加者の声

- モバイル端末は、職場のイントラ端末と遜色なく活用でき、事務的に全く問題なく実施できた
- 通勤にかかる時間を節約でき、介護や家事に回すことで有効に時間を使える など